



ネ 1
4400



六曜之採樣

正
先勝日

いそぐ事なりき
 然るふし一
 金ちのきなり

二
友
引
日

朝夕々昔年のく
まふふふふふ
ふふふふふ

九三
先員日

志乃々々然してふ
用々々々々々々々
あやむく

十四 佛滅日

何の事か
ひやうきで
なまひく

五
大安日

老也ほらんにまは
ゆるふつゝひても
大者目なり

六
赤口

萬のふれも
まふに年の
ろより

仁月とある長月の里
と初月と雲二と然ら

本号

月
日

張

清卷
八

浮勢在

丁未

養子一札

誰處
真子
誰
子
自
方

今子何能出諸我出將就之

東坡先生集卷之四

後月、東宮皇子と云ひ先王と云ひ

清子息 嬌子 相互 疏式 足續

お懐子山仍名後日一札此件

實足
生
入
春
秋
誰
利

中
書
大
事

あつちうんち

[illegible]

老幼咸宜之

手开

樓午うあ

入をよみ

しづかの

子

知

母方の年次の年

朝キヨモリ

生於元皇

たんどより暖ふ

ひきかへ

あるべし

離恨事大坂

町中義通立

德廷先京

卷之六

材

新之市行田

卷之五

Handwritten text, likely a signature or name, appearing as "Handwritten text" in the image.

經義集

天正

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

男子采玉

有介ハカハニ義ノ徳ヲ爲ス

候
契
來
結
无
我
亦
在
當
志
度

博の
 少
 難
 事
 なる

仍屬後日之佳狀也

年号
月日

雅

唐人
維新

人主
惟制

美人

年々多し人福なり

一 惟多者如或存心恒公志

何年何月何日何時

中道指年。當我舊人。每多老矣。

洪武乙未年
四月
金何經

只性傳乃上本矣字也此仕是

子之憂也

三少集

御公儀様御法度と成る所
いふき
なり
すむ

世のあはれ

中書式目録方おあきるも附

法用一吳夏帝一為教以

宋高宗
天自來云
禪
宋高宗
奇何而

何者良明終年九萬奇佳狀

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

羅漢揚帆
經大仲修七

楊夢雲

五

町意物山漬

[illegible]

早送玉衣報北堂

後
下
の
中
に
分
る
を
示
す

三
一

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

仕るより力に
五世に仕る

年素内史服終

[illegible]

養子 孫 陸 氏 子 孫 同

之儀也
 橋筋音中
 橋筋新物
 地裏丸古
 上人可
 屏風在
 町寺利
 道修町
 芝屋新
 芝屋新町

小食市
 角細
 石賽市
 橋筋新
 橋筋新
 大橋筋
 挑蛇小
 祝子
 板紋

飯米雜用算用二仕
 右外
 儀
 坊
 仍
 年号
 月日
 誰教
 人主
 誰判
 誰判

世何
 坊
 昨日
 節
 御儀

手
开

之坊世戸
 進取進取
 警務町費
 新進進取
 一瓦町新
 吉田屋敷
 町藏屋敷
 之坊世戸
 進取進取
 警務町費
 新進進取
 一瓦町新
 吉田屋敷
 町藏屋敷

負永再隱遊女ハ懐女宿不夢
 為成中者補子
 宋方氏代天名志云
 何ちと日那給て中とある横金
 沙法友と云ふも若山先生と云ふ
 九重山ハ山名也此説中板可致ハ
 想ハ人情也中ハ万有ハ他也云々

[illegible]

年号
月日
卷五
雜錄

明史紀事本末
卷之八
清人誰主
誰主

御国取通事
一世者何人
就何用
忠節何事
死也
家
事
遠
事
御国所
事
所
銀
也
不
供
和
新
本
為
好
自
手
般
何
事
件
年
号
月
日
何所
誰
市
利
何所
御
舊
荒
中
様

一合子合何何接
右合子中分其半の付る
此等の家を諸道より請け取
て是れを造り管とせしむるに
爲す也此の上
年月日
何方
連名

之...
 九...
 子安...
 垣町...
 招...
 布...
 堂...
 八...

讓状...
 一...
 金...
 留...
 何...
 世...
 何...
 何...

之...
 之...
 之...
 之...



後...
 年...
 月...
 日...
 又...
 永...
 合...
 何...
 何...
 何...

針金町子
 使目子生
 執事乃城
 芝居探狂
 長行經書
 之堂屋元柳
 と文憑沈順
 正月十日
 昆布餅を
 雲山本津

右の如表は何名置の世
 但し金何百ある何屋何人
 沽券お流永代書渡り
 以屋敷何何方も遠祖
 有る方おの若る指し
 義も身付大判形
 屋敷意及増の買主
 少くも

九条福正殿
 新町傾城屋
 九条佐治上
 宿場堀本

一何所何所何屋誰何表
 何名裏何町並右何
 年号月日
 誰人
 名利
 名利
 名利

金の程何金に買ふ心
 宗名も何家も先程の
 好知り付紅橋人
 実面也あけ江舟卵も
 もあそしと抽く元花
 場所河中年来又人組
 少や難き名教海の日

實之
名

何所
買物人

名刺

合
河田
河田
河田
河田
河田

右田部系代持事乃其
中乃在屋後者肝裏なる金子

福海、花船、舟、根、病、規、賣、賣、海、舟、大、中、之、海、花、屋、獨、新、屋、屋、新、屋、賣、賣、切、荷、打、海、海、同、屋、金、江、町、紙、海、海、町、海、之

柳 結 木 田 野
人 多 東 東 院
燒 雲 庭 町 石
切 尾 庭 町 石
昨 古 持 結 庭
滅 寺 持 結 庭
母 親 寺 持 結 庭
寺 持 結 庭
根 持 結 庭
七 足 龍 井 水

魚 坂 水 庭
菜 大 根 庭
右 持 結 庭
長 持 結 庭
集 持 結 庭
一 持 結 庭
多 持 結 庭
多 持 結 庭
多 持 結 庭

何 指 ぬ 惟 教 永 代 堂 後 中 志
実 心 也 右 田 地 何 方 遠 記
中 志 度 坊 的 中 仍 心 力
後 日 國 代 堂 奉 持 結 庭
年 号 月 日 持 人 名 判
惟 教 實 心 心 判

一 小 袖 持 入 但 判 是 何 心
右 少 袖 持 入 但 判 是 何 心
全 何 持 入 但 判 是 何 心
心 月 切 元 判 全 心 判
集 持 結 庭 中 仍 心 判
流 心 判 是 何 心 判

志賀良羅申不

陶工 朱焼師
 黒磨屋 鼓屋
 草弱屋 下地屋
 草麦屋 草屋
 慢頭屋 刷毛屋
 本掛屋 搦手師
 草屋 枕燈屋
 下地屋 草屋
 草屋 草屋
 草屋 草屋
 草屋 草屋

年号月日
姓名
姓名
姓名

○年号用字 徳武祿 ○月の出 潮のきゝひん

正七月
二十九日
九七日

天不建延安作孽

二日 十七日 明けちう八分 宵ちう八分
三日 十八日 明けちう五分 宵ちう五分

二月十八日

老父中祥勝昌正

四日 十九日 びるふの客よりふの客
五日 廿一日 びるふの客よりふの客

九月十七日 戊五日

集應寶保乾同銅

六日	北日
ひるのつゆふより四つゆふ	ひるのつゆふより四つゆふ
七日	北日
ひるのつゆふより四つゆふ	ひるのつゆふより四つゆふ

五	九
日	日
三	八
日	日

衡康亨弘慶永明

八日 廿三日 ひろ九つふより九つふ
七日 廿四日 ひろ九つふより九つふ

五十一	廿一日 九十九日
六	廿四日

臭靈芬平亦瘡景

十日	廿五日	ひる	八つ	よる	八つ
十一日	廿六日	ひる	八つ	よる	八つ

九月廿二日卅日

白雉鳳來烏壽至

十二日 九七日 びる 八分 八分
十三日 九八日 びる 七分 八分

正
三
二
三
三

治龜祚曆和護喜

十五日 川日ふさふさ おひさ

四い五う六む

天明五年乙巳夏五月吉日

江戸本町筋常磐橋常磐橋北町目通油町

書林
耕書堂
萬屋重三郎板

十
七
五
三

